

推奨設定、問題と対処方法

Nuendo SyncStation

下記に、様々な状況における推奨設定を説明します。

問題#	動作環境/状況	推奨設定
	SyncStation がマシンコントロール(9ピン)マスターの場合。 (SyncStation は、コントロールする VTR から LTC を Timecode In を通じてフィードバックします)	SyncStation のタイムコードソースを“RS422-Out”に設定します(“LTC”ではありません)。Nuendo のトランスポートメニューから“プロジェクト同期設定”ダイアログを開き、ポップアップメニュー“SyncStation の設定”上で、“RS422-Out + LTC のポジション”ボックスにチェックを入れます。
	“プロジェクト同期設定”ダイアログ内の時間関連(プロジェクト設定)をコンピューターのキーボードより変更する場合。 (スタートタイム/長さ/小節数オフセット等)	設定変更の入力後に必ず [Return/Enter] を押します。 [Return/Enter] を押さない場合、Nuendo 4.3 ではプログラムがフリーズします(4.3 より新しいバージョンでは問題ありません)。
	SyncStation のファームウェアをアップロードする場合。	必ず Nuendo を終了してからファームウェアのアップロードを実施してください。 (Nuendo が起動した状態でファームウェアをアップデートした場合、ファームウェアが破損する結果となります)
24462	SyncStation がマスターの場合 (SyncStation によって外部マシンをコントロールする場合) に “Stop”を押したときは、外部マシンは常に “Pause”状態となります。	SyncStation は 9ピンマシンコントロールの機材に、‘Stop’コマンドの代わりに‘Still’コマンドを送ります。外部再生機を完全に停止モードにすることはできません。 (この場合、Nuendo の“プロジェクト同期設定”ダイアログ内のマシンコントロール/マスター初期設定にて、“「Stop」の代わりに「Still」を送信”ボックスにチェックが入っていても効果は同じです)
	SyncStation がクロックジェネレーターおよびワードクロックマスターの場合 (その他のワードクロックジェネレーターが使用されていないとき)、 SyncStation からのワードクロック信号が各オーディオ機材に送信されます。SyncStation の初期クロックは、各 Nuendo プロジェクトのサンプリングレート (クロックレート) と合わせてください。これは自動的に設定されません。	SyncStation の初期クロックレート (サンプリングレート) は、SyncStation のフロント画面の“Clock 02-System clock Rate”メニューから設定します。詳細は SyncStation の取扱説明書をご覧ください。 (メニューリファレンス > Clock メニュー > Clock 02 > W/C)

下記に、SyncStation および Nuendo 使用時に起こりうるいくつかの問題とその対処方法を説明します。

問題#	問題	対処方法
	Windows 上で SyncStation が正常に認識されません。	Windows ユーザーは、必ず最初に USB ケーブルを SyncStation とコンピューターに接続してから SyncStation の電源を入れます。Windows が起動している状態で SyncStation の USB ケーブルを取り外した場合は、再度 USB ケーブルを接続しても SyncStation 本体は Windows 上で正常に認識されない場合があります。この場合は、必ず SyncStation の電源をオフにしてから USB ケーブルを接続します。
	何らかの原因で SyncStation のファームウェアのアップロードに失敗したり、ファームウェアが破損した場合。	SyncStation のフロントパネル上にある下向きのカーソルキーを押しながら SyncStation 本体の電源を入れます。SyncStation はファームウェアのアップロード用の特別モードになります。次に、ファームウェアのアップローダーを起動してから新しいファームウェアをインストールします。詳細は、“SyncStation ファームウェアアップロードガイド” (PDF ファイル) をご覧ください。
	Tascam MX2424 ハードディスクレコーダーと同期する際に、MX2424 が巻き戻し/早送り中にも関わらず Nuendo が再生します。 設定状況: SyncStation のタイムコードソース = MTC マシンコントロール出力先 = SyncStation マシンコントロール出力設定 = Midi Out	Tascam MX2424 と同期する場合は、MIDI の代わりに RS422 シリアルケーブルを使用します。 設定: SyncStation のタイムコードソース = RS422-Out マシンコントロール出力先 = SyncStation マシンコントロール出力設定 = RS422-Out
	Nuendo のプロジェクトカーソルがプロジェクトのスタートタイムあるいはタイムコード位置 00:00:00:00 にジャンプしてしまいます。	Tascam MX2424 ハードディスクレコーダーは、Stop/Pause 状態の場合には LTC の有効なタイムコード位置を送信しません。Tascam MX2424 ハードディスクレコーダーと同期する場合は、RS422 シリアルケーブルをご使用ください。
	まれなケースとして、Nuendo 起動時に “設定データが取得できませんでした” というエラーメッセージが表示されます。	このエラーが出ると、Nuendo は SyncStation の内部設定を読み込むことができません。この場合、「SyncStation の設定を使用」を選択しても正常に機能しません。 解決方法: Nuendo を起動する際に「Nuendo の設定を使用」を選択して、必要であれば SyncStation の設定を変更します。 ご注意: もし Nuendo を起動する際に「SyncStation の設

		<p>定を使用」を間違えて選択してしまった場合は、以下の手順に従います: Nuendo を終了してから、SyncStation のフロントパネル上にある下向きのカーソルキーを一秒以上押し続け SyncStation の設定メニューを表示します。下向きのカーソルで 'Unit 07' のページを開き、“Factory” 設定を選択します。これにより SyncStation は、工場出荷時の状態に再設定されます。</p> <p>詳細は、SyncStation の取扱説明書をご覧ください。 (メニュー/リファレンス > Unit メニュー > Unit 07-Install Template)</p>
	<p>RME(Audio AG 社)のオーディオインターフェースカード用ドライバー・バージョン 3.0.81 を使用する際に、SyncStation の「拡張 System Link」が 1~2 フレームずれることがあります。</p>	<p>HDSP ドライバーをアップデートしてください。</p>
	<p>2 つの Nuendo ワークステーションを SyncStation を通して System Link で接続した場合、32 サンプルのずれ(オフセット)が生じます。</p>	<p>SyncStation は、System Link の出力に 32 サンプルの遅延を発生します。</p> <p>解決方法:</p> <p>両方の Nuendo ワークステーションを SyncStation を経由せず直接 System Link を通して接続します。次に、最初の Nuendo ワークステーションを以下の様に設定します: “デバイス設定” ダイアログ内の 'VST System Link' で「ASIO 出力」の接続先を設定します。「ASIO 入力」は、“未接続”にしておきます。トランスポートメニューから”プロジェクト同期設定” の「SyncStation の設定」ポップアップメニューを開き、プレジジョンタイムアライメント設定を上記の“デバイス設定” の ASIO 出力とは異なる接続先に設定します。</p>
	<p>ある特定のビデオデッキによっては、“1 フレーム”のずれ(オフセット)が生じます。</p>	<p>解決方法: SyncStation に以下の 2 つの新規メニューが追加されたことにより、このフレームオフセットの処理が可能になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • “P2Out > 05-Dynamic Offset”: 接続されたマシンは再生時にオフセット修正されず。 • “P2Out > 06-Edit Offset”: 接続されたマシンが編集/録音状態の場合、あるいはマシン上のトラックが録音可能のときにオフセット修正を行います。 <p>両者ともにオフセット値(-4 ~ +5 フレーム以内)は、SyncStation のフロントパネル上で設定します。</p>

	接続された機材/マシンで録音が始まりません。	<p>接続されたある特定の録音機材専用に録音コマンドを送信するために、以下の3つのメニューが追加されました:</p> <ul style="list-style-type: none">• “P2Out > 02-Record Cmd” : P2 出力への録音コマンド送信を有効/無効にします。• “MIDI > 04-Midi Out-Record Cmd” : MIDI 出力への録音コマンド送信を有効/無効にします。• “USB > 04-Record Cmd->Nuendo” : SyncStation から Nuendo への録音コマンド送信を有効/無効にします。 <p>ご注意: これらは初期状態では無効に設定されています。必要な場合は SyncStation のフロントパネル上で有効に変更してください。</p>
--	------------------------	--